

共生



小学校4～6年

中学校

道徳

総合

道徳ドキュメント 人とつながる

🕒 15分

みんなでいっしょに

(2007年放送)

この番組の良さ



心をひとつに

小学6年生の大川恵梨さんは、生まれて2か月後に起こった阪神淡路大震災の時に、頭に大怪我を負い、複雑なことを記憶したり、話したりすることが難しくなっていました。そんな大川さんが、神戸市立明親小学校に転校してきました。最初みんなはどう接していったらよいのかわかりませんでした。しかし、クラスの一員として、朝の歌や音楽会に向けての合唱練習に取り組む中で、みんなの心がひとつになっていきました。

子どもの視点から学ぶ

共に学び合い、接していく中で、「学校が楽しい」と話した大川さんの言葉から、相手の立場に立って物事を考え、同じクラスの仲間として、どう向き合い、どう接していけばいいのかについて、子どもの視点から学ぶことのできる番組です。

番組活用のポイント

一緒に考える

4月は学級開きの時です。子どもたちは期待に胸を膨らませ、新学期を迎えます。担任にとっては、1年間を左右する大切な時期でもあります。学級作りの上で大切なこの時期、クラスのことをよく考え、相手の立場にたって考えられる集団になるよう、子どもたちと一緒に考えていきましょう。

友だちのことをじっくり考える

仲間は一人でも欠けたら仲間ではない。同じ仲間として、同じ目標をもって、同じことをやり遂げることの大切さを考えていきましょう。そして、子どもたちの中から自然とその気持ちが芽生え、友だちのことをじっくりと考えられる心が育つきっかけとして、本番組を活用することができます。

成長を通して考える

明親小学校6年生が成長していく過程を通して、特別支援学級についての理解が深まります。同じクラスの一員として、自分は何ができるのか、何をしなければならないのか考えることによって、偏見をもたずに、友だちとしっかり向き合うことができます。そして、自ら行動することによって、自分だけでなく、周りの友だちも共に成長できるといったことに、気付くことができるよう心がけます。

また、運動会や音楽発表会など、全員で一つのことに取り組む前や、改めて自分たちのクラスについて考えさせたい時に、本番組を視聴してみるのもよいでしょう。みんなで力を合わせることの大切さや素晴らしさを、共に考えることができます。

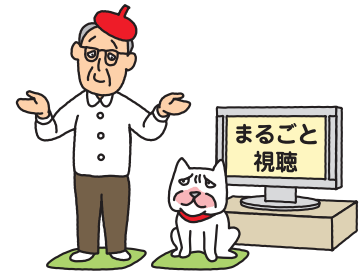
そして、震災の怖さや、共に助け合っていこうとする精神、それを乗り越える力強さといったものも、本番組を通して、感じ取ることができます。

(溝内正剛)

学習展開例

授業時間 45分

クラスの心をひとつにするには 友だちとの絆を深めるには



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①友だちとは何かについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○「みなさんは友だちのことについて、じっくり考えたことはありますか」という問いかけから、本時のねらいをつかむことができるようにする。 ○今までに、友だちのことについて真剣に考えたことがあるか、自由に発表させる。
20分	②番組を視聴しながら考える。 <ul style="list-style-type: none">  <ul style="list-style-type: none"> ・大川恵梨さんが特別支援学級で学習をしている場面 (開始～3分31秒)  <ul style="list-style-type: none"> ・クラスみんなが大川さんについて考えている場面 (3分31秒～6分55秒)  <ul style="list-style-type: none"> ・新たな問題にぶつかりそれを乗り越えていく場面 (6分55秒～10分36秒)  <ul style="list-style-type: none"> ・心をひとつに合唱した音楽会と卒業式の場面 (10分36秒～終わり) 	<ul style="list-style-type: none"> ○開始から3分31秒の「大川さんがうまれた～複雑なことを記憶したり、話したりすることが難しくなってしまったのです」のナレーション後、一時停止し、震災のことや、現在の大川さんの様子について考え、大川さんが今困っていることに気づくよう助言する。 ○4分42秒で一時停止し、なかなかクラスになじめない大川さんに対して、どう接していけばいいのか考えながら視聴するよう話す。 ○10分36秒の「友だちに対する思いが変わりました」のナレーション後、一時停止し、友だちに対する気持ちがどのように変わっていったのか、考えながら視聴するよう話す。 ○クラスみんなの気持ちが一つになることの素晴らしさ、みんなで一つのことによって一生懸命取り組む素晴らしさに、気づくよう言葉かけを行う。
15分	③番組視聴後、感想を話し合い、意見をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・大川さんのことについて話し合う。 ・どのようにクラスの絆が深まっていったのか、その理由について考える。 ・仲間とともに、一つのことをやりとげるすばらしさについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大川さんが今困っていることや、クラスになじめない理由について、話し合えるよう支援する。 ○本当の友だちとは何か、しっかりと子どもたちと向き合い、話し合わせ、考えさせる。 (雰囲気作り／同じ仲間として向き合う／相手の立場に立って考える／一人一人を思いやる／自分たちで答えを見つける) ○「一人でも欠けたら仲間ではない」この言葉の意味をしっかりと捉えさせる。 ○みんなで一つの目標に向かって、全力で取り組むことの素晴らしさを、子どもと一緒に考えられるよう、これまでの体験を通して考え、仲間の大切さについて話し合わせる。
5分	④学習のまとめと振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○視聴後の感想や、話し合った内容をまとめ、自分自身のこと、友だちのこと、クラスのことについて考えさせる。